

受験算数の基礎



試行力問題～子どもから大人まで～

りょういきぶんかつ
領域分割・4

点と点をまっすぐな線で結んで、線で囲まれた部分を数えます。図2では5個、図3では7個の部分があります。図4のように、点ではないところで線と線がかさなることはできません。

図1

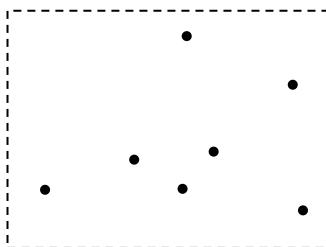


図2

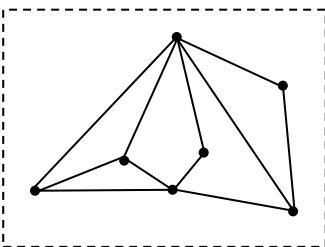


図3

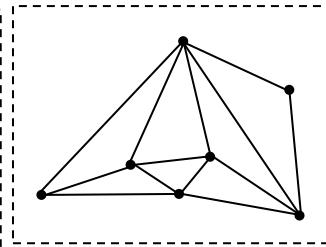
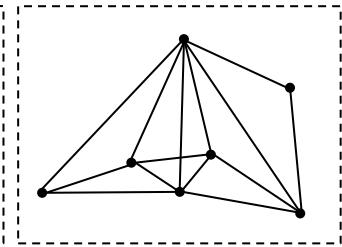
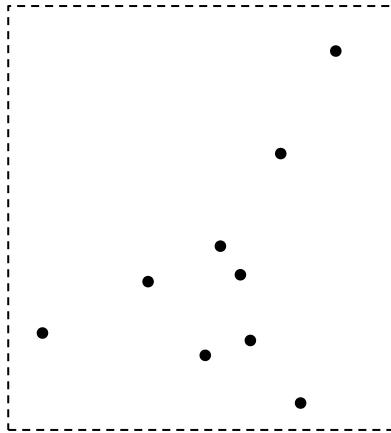


図4

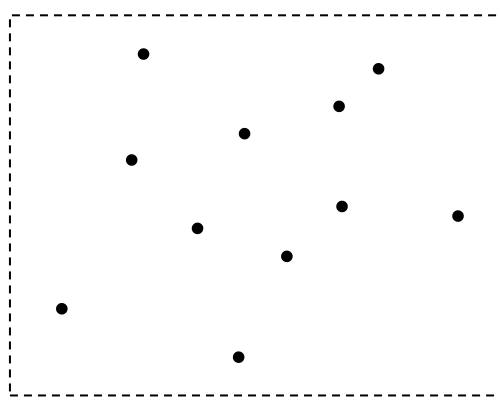


(ア)～(ウ)の図について、線で囲まれた部分ができるだけ多くなうように点と点を結びなさい。

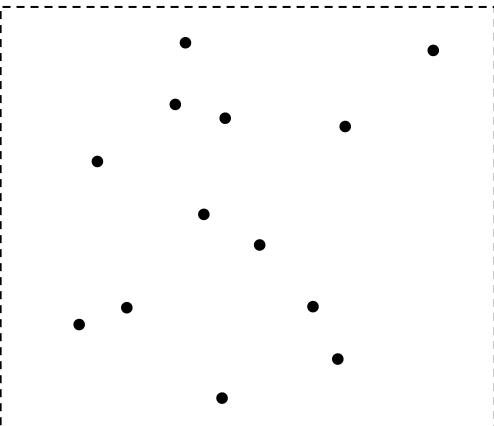
(ア)



(イ)



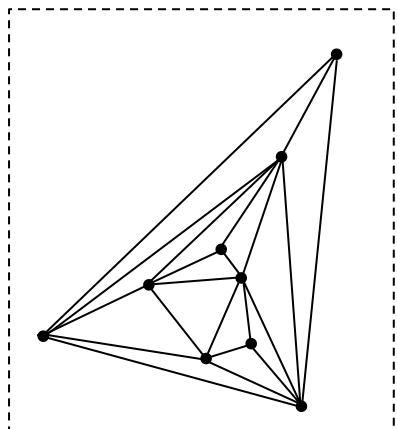
(ウ)



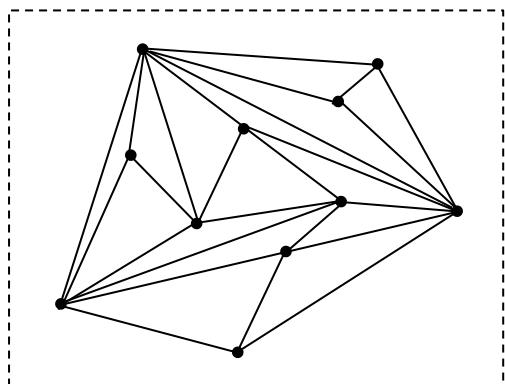


領域分割・4

(ア) 13個の三角形に分けることができます。以下は解答例です。



(イ) 15個の三角形に分けることができます。以下は解答例です。



(ウ) 18個の三角形に分けることができます。以下は解答例です。

